

平成 30 年度 専門領域推進部 ウィメンズヘルス領域 第 3 回 勉強会 活動報告

日 時：平成 30 年 6 月 21 日（木）18：30～20：00

会 場：山形済生病院 リハビリテーション室

テーマ：骨盤底の評価と触診

参加者：庄司優喜子、坂本優捺、本間千尋（山形済生病院）、浦山樹（山形大学病院）

井上由梨絵（北村山公立病院）、高平真澄、加藤太祥、金子絵梨花、杉本美妃、

木村有希、布宮七海、鈴木美和（山形県立中央病院）、高田未翔（米沢市立病院）

宇山紗綾、渡部美穂（公立置賜総合病院）、有路慶子、折原千絵（訪問看護ステーションやまがた） 17 名

今回の勉強会では、骨盤底の評価と触診というテーマで実技を中心に行った。ウィメンズヘルス勉強会に初めての参加者も多く、APTA（アメリカ PT 協会主催のウィメンズヘルスセミナー）など研修会に参加経験のある部員を中心とし、骨盤底の解剖を骨モデルや 3D 解剖を用いて確認しながら、二人一組となって触診した。

ウィメンズヘルス分野においてリハビリテーションの対象は高齢者や妊産婦など幅広く、問題となる点も骨盤臓器脱、尿失禁や腰痛など様々であるが、その中でも骨盤底の評価が必要となることが多い。経膣による触察が推奨されているものの、実際の臨床場面では直接行うことが難しい。そのため、着衣上からの触診や評価指標の一つである「**PERFECT scheme**」をどのように用いていくか、という点について話し合いながら意見を交換した。

今回は他病院の参加者と対象者との関わりや、また実際のトレーニング場面での変法や声かけ方法など意見を交換し合いながら進めることができ、有意義な勉強会となった。今後も県内理学療法士の繋がりを深めながら、意見や知識の交換を行うことでウィメンズヘルス領域の発展を図っていきたいと考える。

文責：本間

